

序

富山大学長 横田嘉右衛門

沿革をたどると本学部は明治二十六年に富山のくすり関係の子弟養成を目的に薬学校として発足したことに始まり正に四分の三世紀の長い歴史を経たことになる。この長い伝統とそれに四、〇〇〇名に垂んとする出身者の数はひとしく大きな誇りであるが、それにもまして大事なことは質の問題で全国いたるところ本学出身者に対する不動の評価こそ母学最大の栄光と言えよう。

学校の名称も所管も所在地もいくたびか変遷をとげ、今やここ五福の土地に富山大学の重錘として永遠の基礎を据えた。物的にも人的にもかなり整備をとげ、まさに大飛躍前のウォーミングアップに専念している。

出身者の結集団体である富山薬窓会も堅実な歩みを続け、その目的である母学に対する関心と援助とは常に心温まるものがある。

今回錦秋を期して薬窓会を中心に創立七十五年の多彩な記念事業が展開されることになった。

本史も記念事業の一環として計画され、その編集には幸い適材を得てここにこの種記念史としてはけだし出色のものとなった。

私は長い七十五年の最後段の二十年余を即ち戦災、復興、大学転換、五福集中等に関係した。これだけにて思い出は尽きない。時に苦悩の中にも常にやりがいを感じて、終始できたことは生涯の幸福で感謝に堪えない。ここに一文を草して序とする。

序

富山大学 薬学部長 志 甫 伝 逸

昭和四十年十月本学部創立七十五周年記念祝賀式典が举行されるに当り、七十五年にわたる発展的変遷の経緯を現わす本学部沿革史の刊行をみるに至ったことは、まことに慶祝に堪えない。

富山大学薬学部七十五年史の刊行に当っては、その編さんは容易ならざる困難な仕事で、散在せる資料の蒐集は、全国にちらばっている卒業生の方々のご協力やら、往時の地方新聞の記事を見出すことなど、極めて困難な仕事であった。これを多年にわたって乗り越えることが出来て、着々と進み、ここに七十五年史が刊行されるに至り、編さんに当られた諸氏のご辛勞に對して深く敬意を表する。

富山大学薬学部の歴史の始まりは、富山売薬に端を発している。一六九〇年（元禄三年）富山藩二代藩主前田正甫侯が千代田城内で、某大名の急病に際し、青貝の印籠の中にある「反魂丹」を出し服用させたところ、病が平癒し、その奇効に列座の諸大名おどろき、これを機に売薬業者汎く諸国に行商し、富山売薬の名声はいやが上にも天下にひびいたわけである。

このような富山売薬の大きな後ろだてをうけて、売薬業の有力者たちの手によって、共立富山薬学校が創立され、富山市立富山薬学校、富山市立富山薬業学校、富山県立薬業学校、さらに富山県立薬学専門学校、ついに官立に移管して富山薬学専門学校となり、戦後の学制改革により富山大学薬学部となって今日におよび、日に発展の経過を辿っていることはまことにご同慶に堪えないところである。この七十五年の内面には全く

苦闘があつたればこそ、今日の発展があつたわけで、その伝統こそ富葉の精神であり歴史であると思う。

富山大学薬学部七十五年史は先人の活躍と苦闘のあとを辿ると共に、そこにみる不撓の精神をくみとり、いささかでも今後の発展に役だてたいと考えてなされたもので、過去の懐旧に浸るとか、単なる記録として終らしめたくないものである。

この輝かしい七十五年！今日の発展の歴史を造り上げた崇高な富葉の精神、伝統は今や実社会へ送った多くの卒業生の素晴らしい大きな原動力となっている。

この七十五年史を読まれて、その苦闘の歴史をお知り願ひ、認識を新たにして今後共当薬学部の発展のためご支援、ご協力を賜わらんことを切にお願い申し上げます。

発刊の辞

富山大学薬学部七十五周年記念事業委員長

会長 石 黒 七 三

創立七十五周年記念事業の一として本史を編さん刊行することになりました。富山県における薬学教育は富山薬業と歩みをともに伸びて来たもので、人材をつくることが富山薬業百年の大計をなすものとして明治二十六年富山の売薬業者みづからつくった共立富山薬学校を出発点として私立が市立、県立となって進んで来たその時勢に対応して明治四十三年には富山県立薬学専門学校にまで発展し、大正九年には官立に移管、終戦後の学制改革により昭和二十五年富山大学薬学部となりました。この間育成された人材数今ではひろく全国各界各層に進出され、よく変転する時代の風雪に耐えて薬業の隆昌、国民保健の向上に尽瘁され、また現に貢献されつつあります。学舎またいく度か移転されましたが、その都度施設内容が充実され、教授陣と相俟って現在全国屈指の偉容を整うるにいたしました。古きをたづね新しきを知ることが人生行路に深い意義をもつとともに将来への道しるべとなると信じ、敢てご一読をねがう次第であります。刊行にあたりつぶさに労を惜まれなかった編集委員の方々に深くお礼申し上げます。

昭和四十年十月